

岐阜県における  
土地価格と不動産取引の動向  
に関するアンケート調査結果

～岐阜県不動産市況D I 調査～

(令和8年4月1日基準点)

令和8年6月

公益社団法人 岐阜県宅地建物取引業協会

公益社団法人 岐阜県不動産鑑定士協会

後 援 岐 阜 県

# 目 次

調査結果について .....	1
1. 調査実施の概要 .....	3
2. 回答者の属性 .....	3
(1) 主な事業地域 .....	3
(2) 主な事業内容 .....	3
3. 回答内容 .....	4
(1) 地価動向の集計 .....	4
① 岐阜県全域の集計 .....	4
② 地域毎の集計 .....	5
(2) 不動産取引(取引件数)の動向 .....	8
① 岐阜県全域の集計 .....	8
② 地域毎の集計 .....	11
(3) 不動産取引(賃料・空室率)の動向 .....	14
① 岐阜県全域の集計 .....	14
② 地域毎の集計 .....	17
各地域ごとのコメント .....	19
全県実感DI推移表 .....	20

## 岐阜県における

# 土地価格と不動産取引の動向 に関するアンケート調査結果

令和8年4月1日を起点とし、過去6ヶ月(R7.10.1～R8.4.1)と、今後6ヶ月(R8.4.1～R8.10.1)の、岐阜県の土地価格と不動産取引の動向について、公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員へアンケート調査を行った結果についてお知らせします。

### I. 土地価格の動向について

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
0.1ポイント	1.5ポイント	1.2ポイント	△2.4ポイント

今回の県全体の地価動向D Iは、1.2ポイントで、前回基準点（令和7年10月1日）の1.5ポイントからやや悪化したが土地価格の動向は安定的に推移していることが読み取れる。  
また、前回の予測値1.2ポイントと今回の地価動向D Iは同数値で一致した。  
ただ半年後の予測値は△2.4ポイントとなっており、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響による先行き不透明感や不安感を反映した数値となっている。

### II. 不動産市場の動向（県全体）について

#### 1. 取引件数について

##### (1) 土地

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△7.0ポイント	△9.4ポイント	△7.8ポイント	△13.0ポイント

前回の△9.4ポイントよりやや良化し△7.8ポイントとなった。また前回の予測値△10.3ポイントから見てもやや良化といえる。ただ半年後の予測値は△13.0ポイントとなっており今後の下落の拡大が予測されている。

##### (2) 新築戸建

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△20.5ポイント	△22.4ポイント	△20.6ポイント	△21.1ポイント

前回の△22.4ポイントよりわずかに良化し△20.6ポイントとなった。ただ前回の予測値△19.0ポイントから見るとやや悪化している。また半年後の予測値も△21.1ポイントとなっており今後の下落の継続が予測されている。

##### (3) 中古住宅

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
0.5ポイント	5.6ポイント	2.3ポイント	2.1ポイント

前回の5.6ポイントより悪化し2.3ポイントとなった。また前回の予測値3.0ポイントから見てもわずかに悪化している。ただ半年後の予測値は2.1ポイントとなっており今後も上昇の継続が予測されている。

##### (4) 新築マンション

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△21.7ポイント	△17.5ポイント	△26.9ポイント	△25.0ポイント

前回の△17.5ポイントよりさらに悪化し△26.9ポイントとなった。また前回の予測値△18.8ポイントから見ても同様に悪化が拡大している。また半年後の予測値も△25.0ポイントとなっており今後の下落の継続が予測されている。

(5) 中古マンション

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△11. 7ポイント	△3. 6ポイント	△8. 1ポイント	△5. 4ポイント

前回の△3. 6ポイントより悪化し△8. 1ポイントとなった。また前回の予測値△5. 0ポイントから見ても悪化している。ただ半年後の予測値は△5. 4ポイントとなっており下落幅の縮小が予測されている。

2. 賃料、空室率について

(1) 賃料水準について

居住用物件の賃料

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
1. 9ポイント	△2. 6ポイント	△0. 3ポイント	△3. 0ポイント

事業用物件の賃料

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△4. 3ポイント	1. 8ポイント	△3. 1ポイント	△2. 1ポイント

居住用物件の賃料水準は、前回調査△2. 6ポイントから改善して△0. 3ポイントとなった。事業用物件は前回1. 8ポイントから大きく悪化して△3. 1ポイントとマイナスに転換した。居住用物件では、戸建貸家の需要が底堅く、物価高の影響から人気物件は賃料増額も見込まれる反面、築古等不人気物件の賃料増額は現実性が乏しい。事業用物件でもインバウンド関連物件や物流施設等の交通便利性が高い物件といえども賃料増額は困難な状況にある。

(2) 空室率について

居住用物件の空室率

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△3. 0ポイント	△4. 4ポイント	△1. 7ポイント	△6. 0ポイント

事業用物件の空室率

R7. 4. 1	R7. 10. 1	R8. 4. 1	R8. 10. 1(予測)
△5. 6ポイント	0. 0ポイント	△3. 6ポイント	△4. 1ポイント

空室率については、居住用物件が△1. 7ポイントと改善したが、事業用物件が△3. 6ポイントとマイナスに転換した。居住用物件は、所在地域により空室率に大きな差異がみられる。事業用物件も長期空室物件と即入居希望物件が混在し、居住用物件同様、二極化の様相を呈している。

【DI指数について】

DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、現況や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている指標です。

DIの算出方法は、各判断項目について5個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して、次式により算出します。

$$DI = \{ (第1選択肢の回答数 \times 2 + 第2選択肢の回答数) - (第4選択肢の回答数 + 第5選択肢の回答数 \times 2) \} \div 2 \div 回答者数 \times 100$$

本調査では、上昇(増加)から下落(減少)までの判断を5段階で調査し、DIが0.0以上なら改善したとみる会員が多く、逆に0.0以下なら厳しい見方が多いことになる。

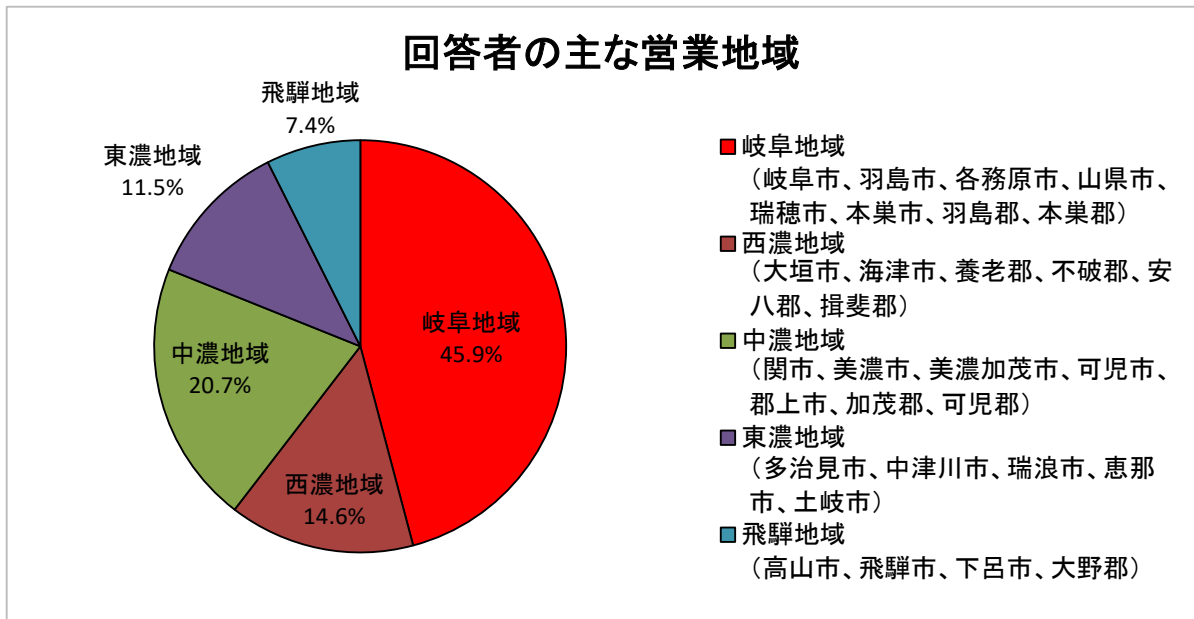
## 1. 調査実施の概要

- (1) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (2) 調査対象：公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会の会員
- (3) 発送数： 1,119 社
- (4) 回答数： 460 社(回収率 41.1% )

## 2. 回答者の属性

### (1) 主な事業地域

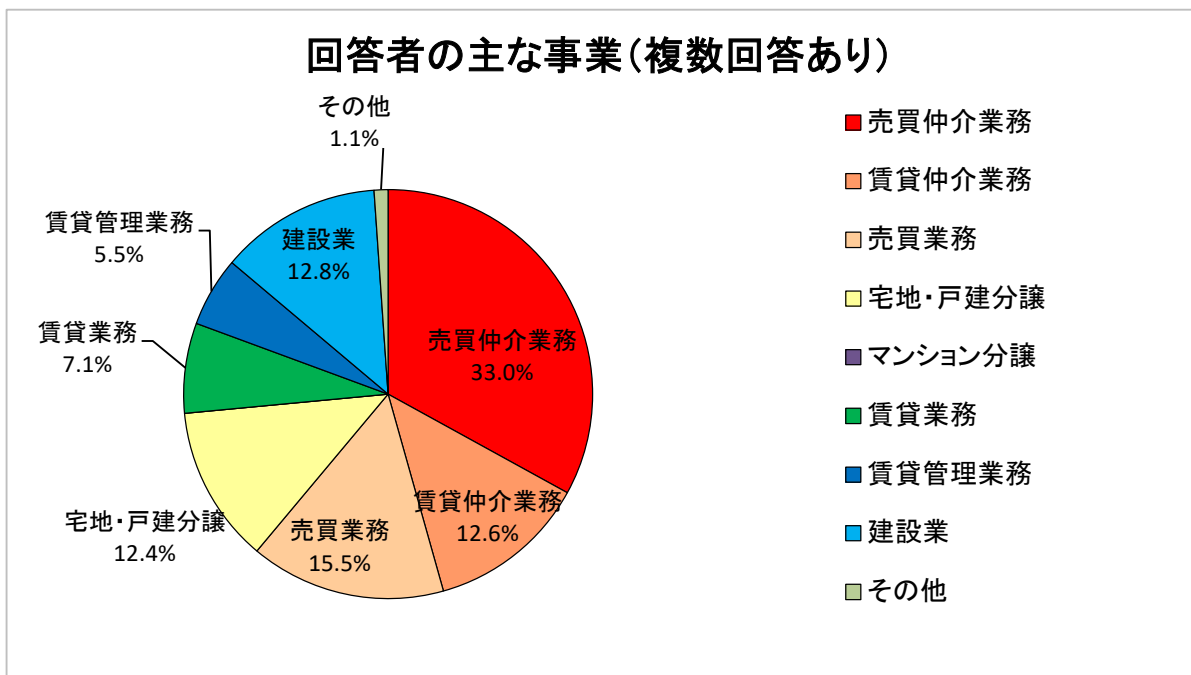
岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域	合計
211	67	95	53	34	460



### (2) 主な事業内容

(複数回答あり)

売買仲介業務	賃貸仲介業務	売買業務	宅地・戸建分譲	マンション分譲	賃貸業務	賃貸管理業務	建設業	その他	合計
269	103	126	101	0	58	45	104	9	815



### 3. 回答内容

#### (1) 地価動向の集計

##### ① 岐阜県全域の集計

問2. 令和8年4月1日現在の地価の動向は、半年前(令和7年10月1日)と比較してどのように感じておられますか？

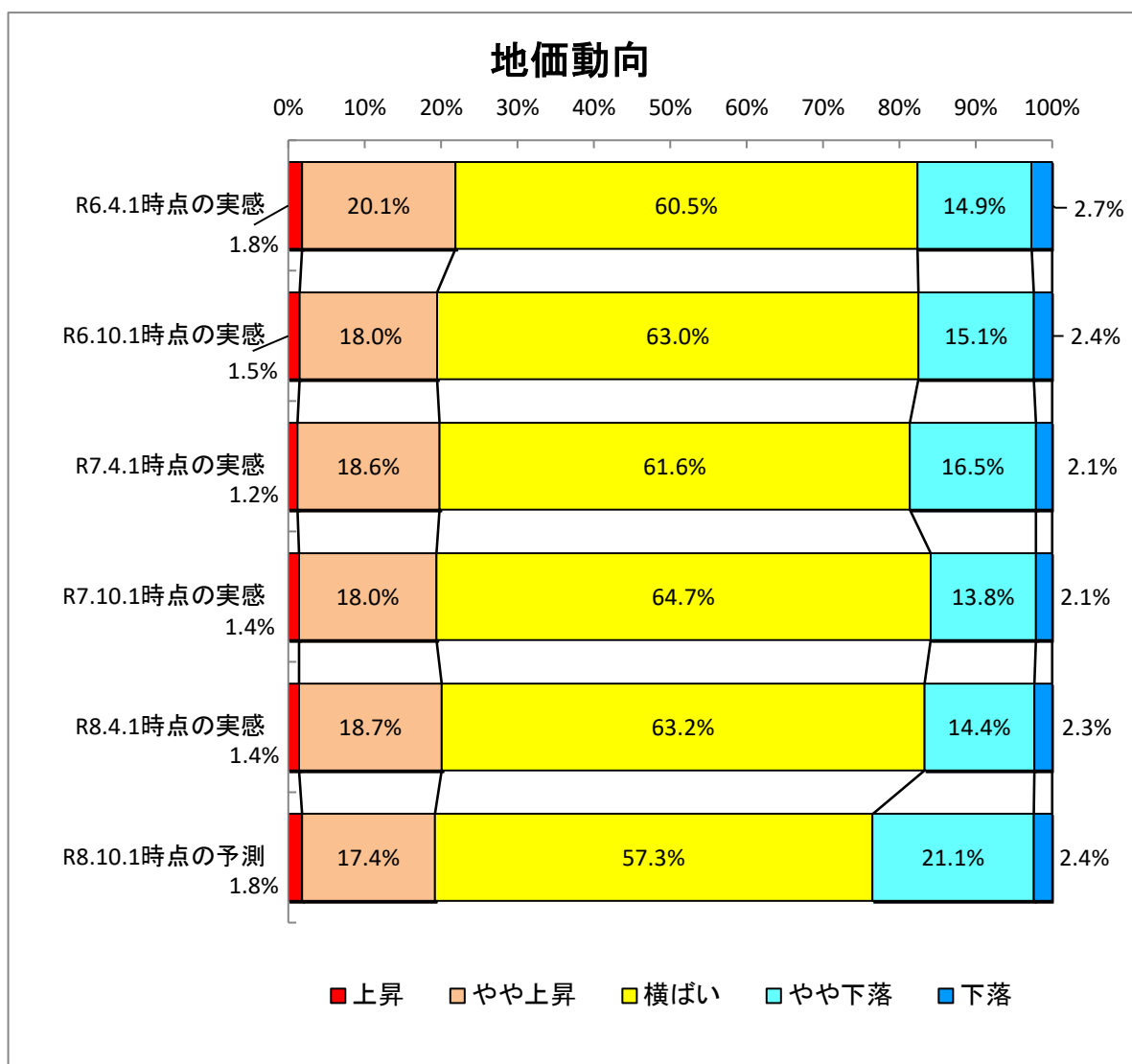
令和8年4月1日と令和7年10月1日の地価動向の比較

上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
12	162	548	125	20	867	1.2
1.4%	18.7%	63.2%	14.4%	2.3%	100.0%	

問3. 半年後(令和8年10月1日)の地価の動向は、現在(令和8年4月1日)と比較してどうなると予想されますか？

令和8年4月1日と令和8年10月1日の地価動向の比較

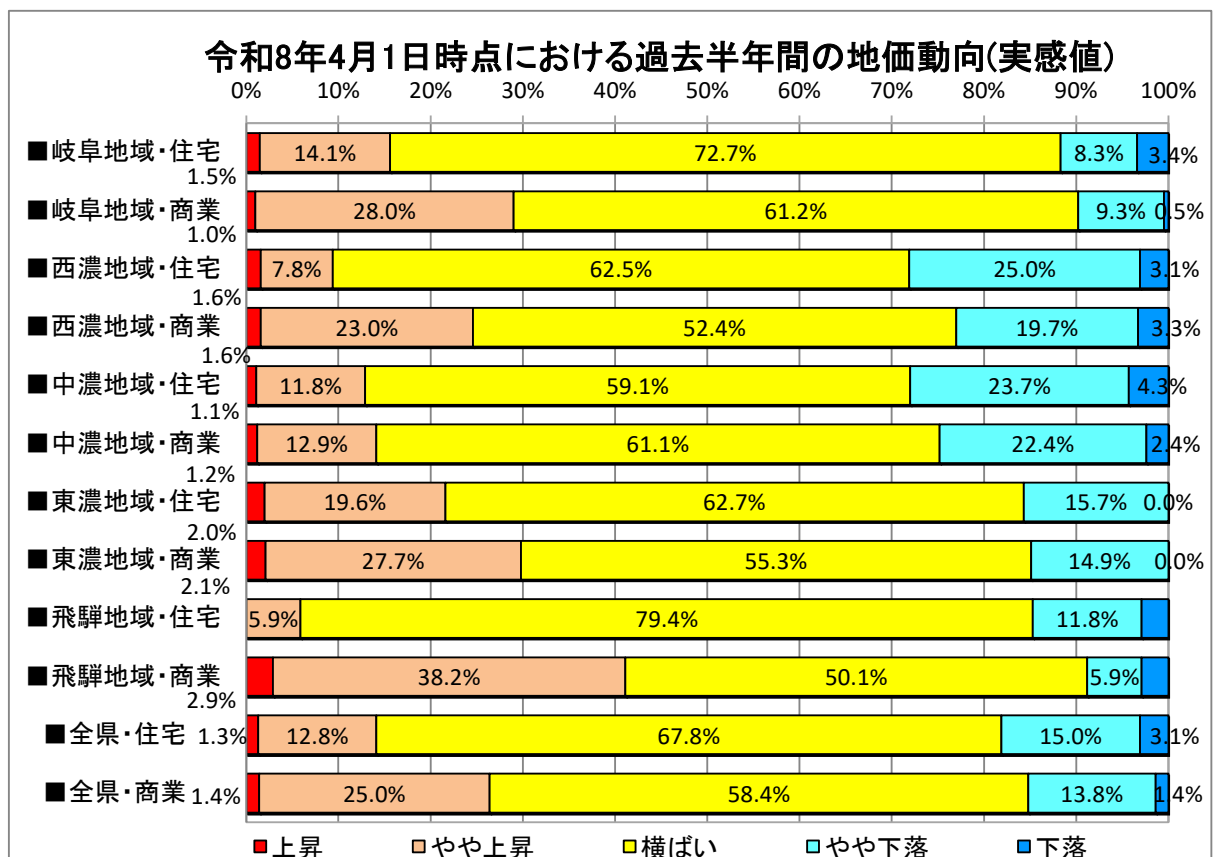
上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	下落	小計	DI
16	151	496	183	21	867	-2.4
1.8%	17.4%	57.3%	21.1%	2.4%	100.0%	



## ②地域毎の集計

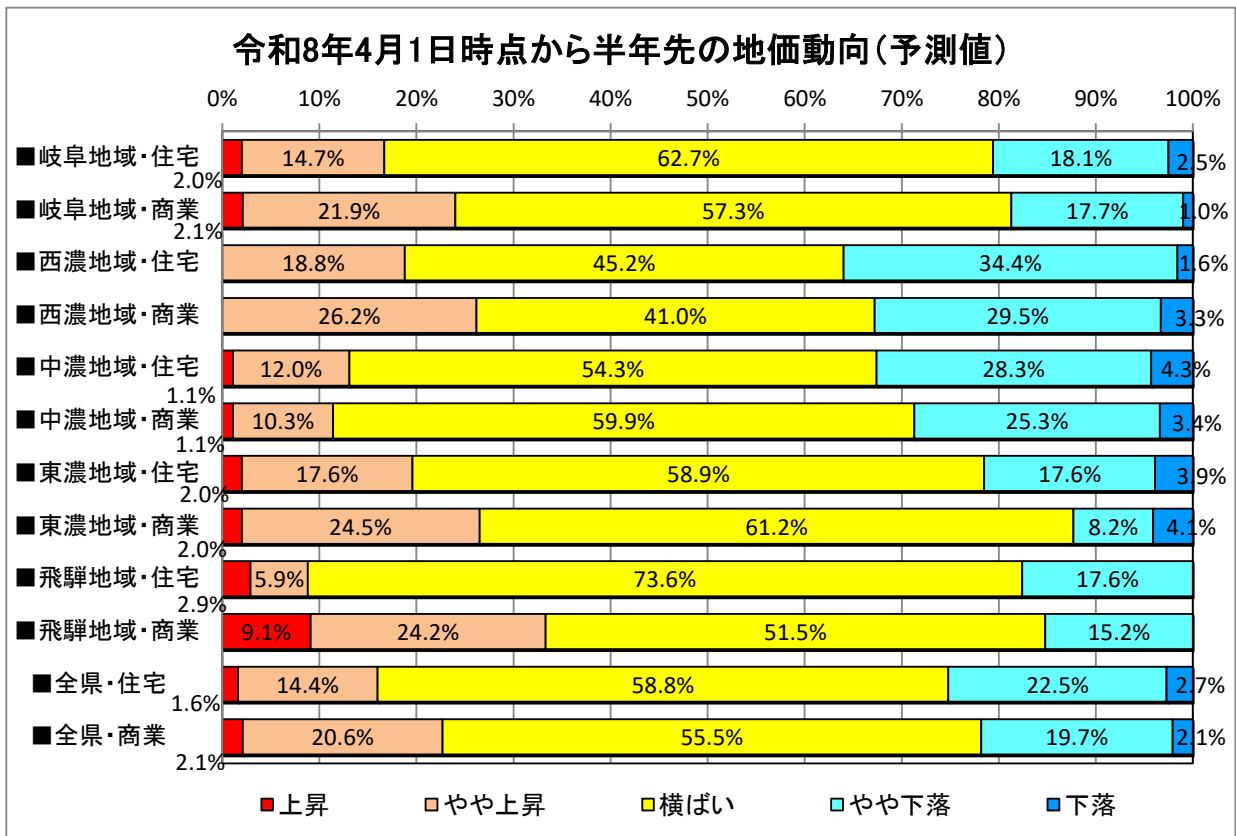
問2. 令和8年4月1日現在の地価の動向は、半年前(令和7年10月1日)と比較してどのように感じておられますか？

地価動向・地域毎(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の地価動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	3	29	149	17	7	205
DI指数	1.0P	1.5%	14.1%	72.7%	8.3%	3.4%	100%
岐阜地域・商業地	回答数	2	54	118	18	1	193
DI指数	9.8P	1.0%	28.0%	61.2%	9.3%	0.5%	100%
西濃地域・住宅地	回答数	1	5	40	16	2	64
DI指数	-5.2P	1.6%	7.8%	62.5%	25.0%	3.1%	100%
西濃地域・商業地	回答数	1	14	32	12	2	61
DI指数	-10.2P	1.6%	23.0%	52.4%	19.7%	3.3%	100%
中濃地域・住宅地	回答数	1	11	55	22	4	93
DI指数	-9.1P	1.1%	11.8%	59.1%	23.7%	4.3%	100%
中濃地域・商業地	回答数	1	11	52	19	2	85
DI指数	-5.9P	1.2%	12.9%	61.1%	22.4%	2.4%	100%
東濃地域・住宅地	回答数	1	10	32	8	0	51
DI指数	3.9P	2.0%	19.6%	62.7%	15.7%	0.0%	100%
東濃地域・商業地	回答数	1	13	26	7	0	47
DI指数	8.5P	2.1%	27.7%	55.3%	14.9%	0.0%	100%
飛騨地域・住宅地	回答数	0	2	27	4	1	34
DI指数	-5.9P	0.0%	5.9%	79.4%	11.8%	2.9%	100%
飛騨地域・商業地	回答数	1	13	17	2	1	34
DI指数	16.2P	2.9%	38.2%	50.1%	5.9%	2.9%	100%
全県・住宅地	回答数	6	57	303	67	14	447
DI指数	-2.9P	1.3%	12.8%	67.8%	15.0%	3.1%	100%
全県・商業地	回答数	6	105	245	58	6	420
DI指数	5.6P	1.4%	25.0%	58.4%	13.8%	1.4%	100%

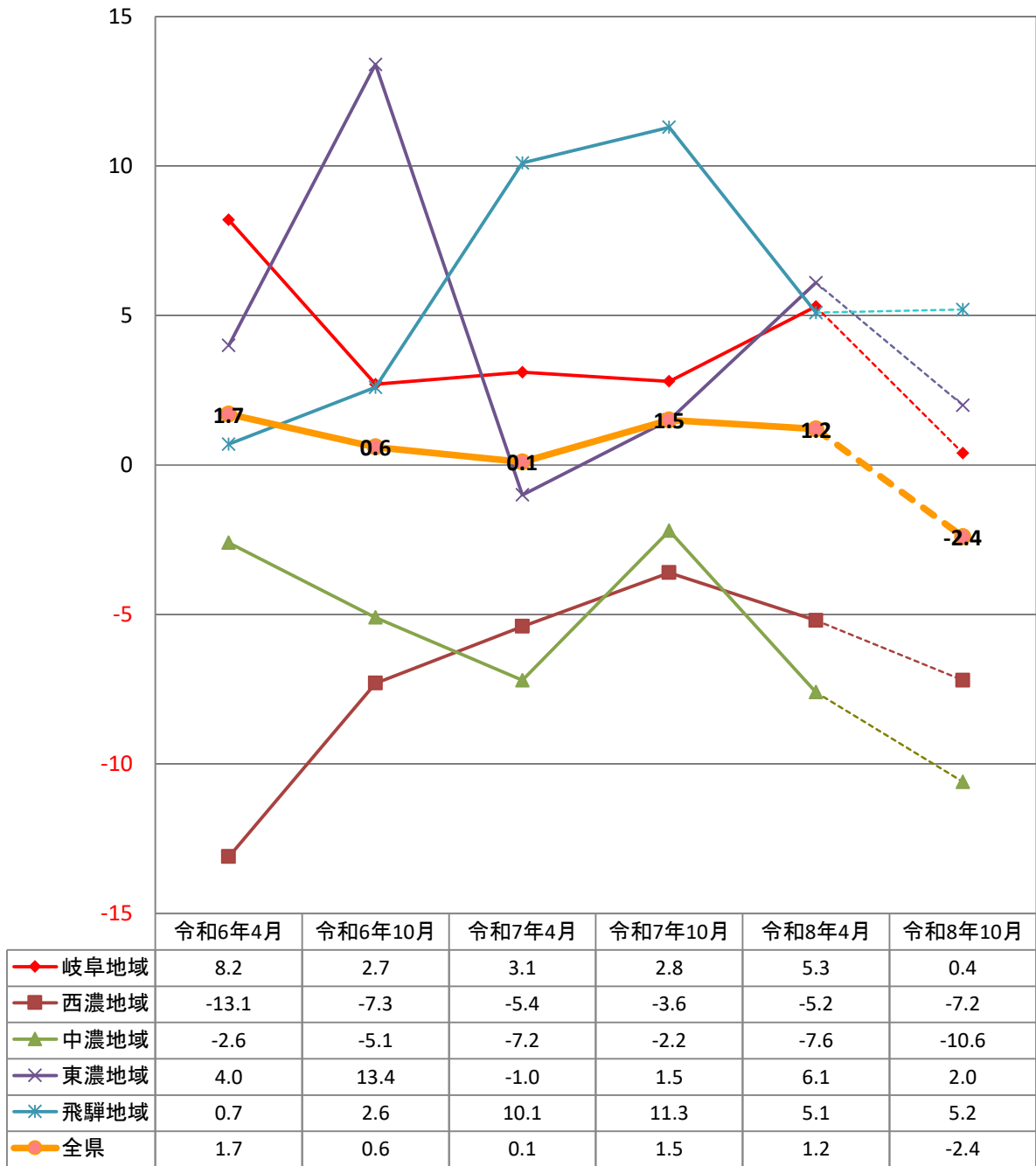


問3. 半年後(令和8年10月1日)の地価の動向は、現在(令和8年4月1日)と比較してどうなると予想されますか？

地価動向・地域毎(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の地価動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
岐阜地域・住宅地	回答数	4	30	128	37	5	204
	DI指数	0.4P	2.0%	14.7%	62.7%	18.1%	2.5%
岐阜地域・商業地	回答数	4	42	110	34	2	192
	DI指数	-2.2P	2.1%	21.9%	57.3%	17.7%	1.0%
西濃地域・住宅地	回答数	0	12	29	22	1	64
	DI指数	-7.2P	0.0%	18.8%	45.2%	34.4%	1.6%
西濃地域・商業地	回答数	0	16	25	18	2	61
	DI指数	-9.4P	0.0%	26.2%	41.0%	29.5%	3.3%
中濃地域・住宅地	回答数	1	11	50	26	4	92
	DI指数	-10.6P	1.1%	12.0%	54.3%	28.3%	4.3%
中濃地域・商業地	回答数	1	9	52	22	3	87
	DI指数	-11.4P	1.1%	10.3%	59.9%	25.3%	3.4%
東濃地域・住宅地	回答数	1	9	30	9	2	51
	DI指数	2.0P	2.0%	17.6%	58.9%	17.6%	3.9%
東濃地域・商業地	回答数	1	12	30	4	2	49
	DI指数	-2.0P	2.0%	24.5%	61.2%	8.2%	4.1%
飛騨地域・住宅地	回答数	1	2	25	6	0	34
	DI指数	5.2P	2.9%	5.9%	73.6%	17.6%	0.0%
飛騨地域・商業地	回答数	3	8	17	5	0	33
	DI指数	-2.9P	9.1%	24.2%	51.5%	15.2%	0.0%
全県・住宅地	回答数	7	64	262	100	12	445
	DI指数	-2.4P	1.6%	14.4%	58.8%	22.5%	2.7%
全県・商業地	回答数	9	87	234	83	9	422
	DI指数	-5.2P	2.1%	20.6%	55.5%	19.7%	2.1%



### 地価動向DI



※令和8年10月は令和8年4月時点における予測値を示す(以下、同様)。

## (2) 不動産取引(取引件数)の動向

### ①岐阜県全域の集計

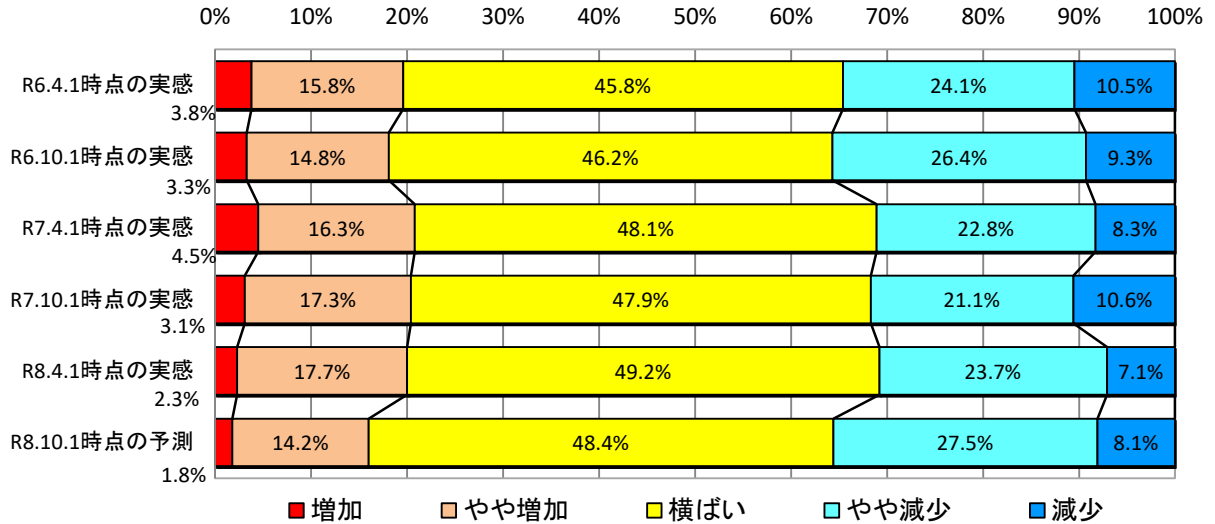
問4. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、令和8年4月1日現在の半年間の取引件数は、半年前(令和7年10月1日)と比較してどうですか？

取引動向・全域(過去)		1	2	3	4	5		
調査時点における過去半年の取引動向(実感値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	9	70	195	94	28		396
DI指数	-7.8P	2.3%	17.7%	49.2%	23.7%	7.1%		100%
新築戸建住宅	回答数	8	28	71	55	35		197
DI指数	-20.6P	4.1%	14.2%	36.0%	27.9%	17.8%		100%
中古戸建住宅	回答数	11	77	129	40	23		280
DI指数	2.3P	3.9%	27.5%	46.1%	14.3%	8.2%		100%
新築マンション	回答数	0	4	50	21	16		91
DI指数	-26.9P	0.0%	4.4%	54.9%	23.1%	17.6%		100%
中古マンション	回答数	6	17	72	18	16		129
DI指数	-8.1P	4.7%	13.2%	55.7%	14.0%	12.4%		100%

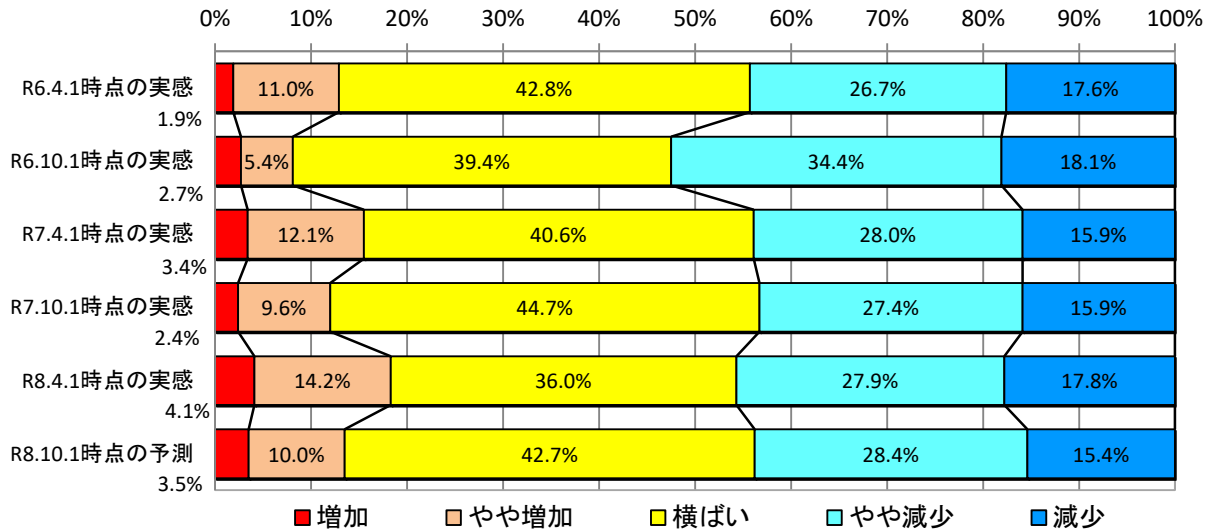
問5. 貴社で取扱いの次の売買(仲介)物件について、半年後(令和8年10月1日)の取引件数は、現在(令和8年4月1日)と比較してどうなると予想されますか？

取引動向・全域(将来)		1	2	3	4	5		
調査時点から半年先の取引動向(予測値)		増加傾向にある	やや増加傾向にある	横ばいである	やや減少傾向にある	減少傾向にある		合計
土地	回答数	7	56	190	108	32		393
DI指数	-13.0P	1.8%	14.2%	48.4%	27.5%	8.1%		100%
新築戸建住宅	回答数	7	20	86	57	31		201
DI指数	-21.1P	3.5%	10.0%	42.7%	28.4%	15.4%		100%
中古戸建住宅	回答数	9	78	130	44	20		281
DI指数	2.1P	3.2%	27.8%	46.2%	15.7%	7.1%		100%
新築マンション	回答数	0	6	49	22	15		92
DI指数	-25.0P	0.0%	6.5%	53.3%	23.9%	16.3%		100%
中古マンション	回答数	4	26	62	28	10		130
DI指数	-5.4P	3.1%	20.0%	47.7%	21.5%	7.7%		100%

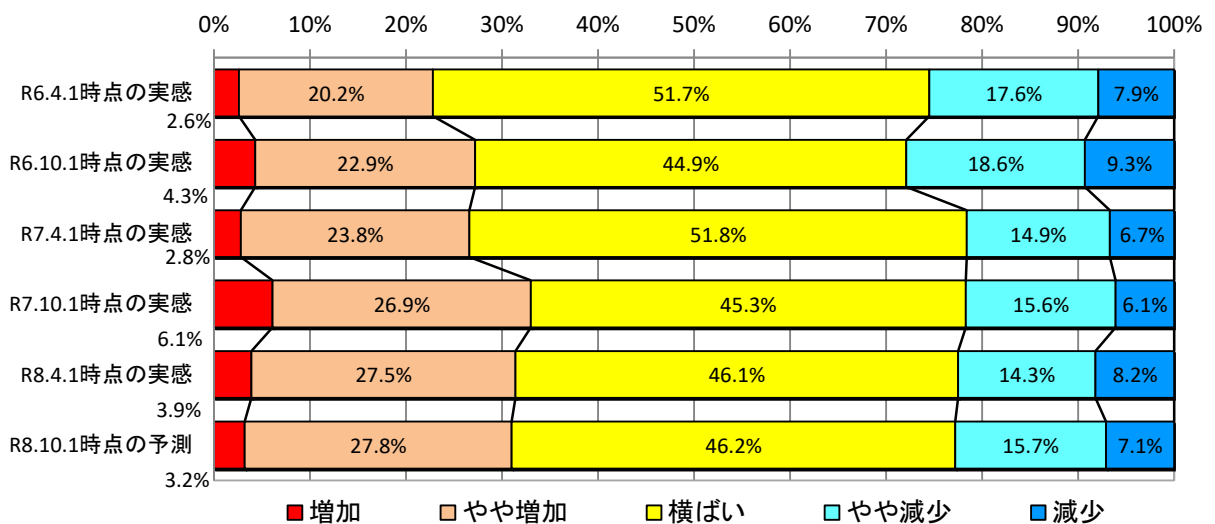
## 土地



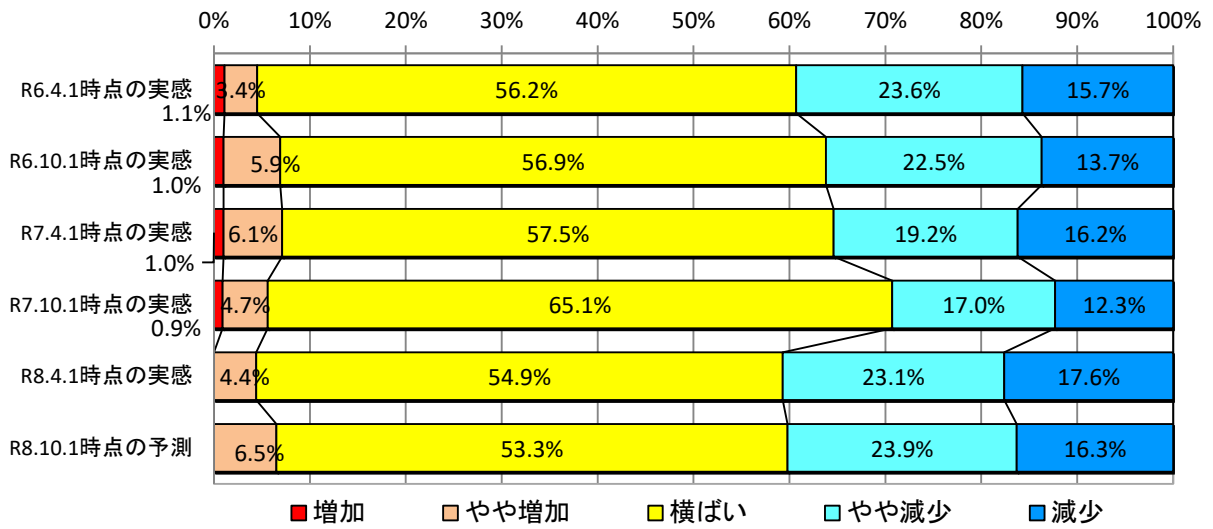
## 新築戸建住宅



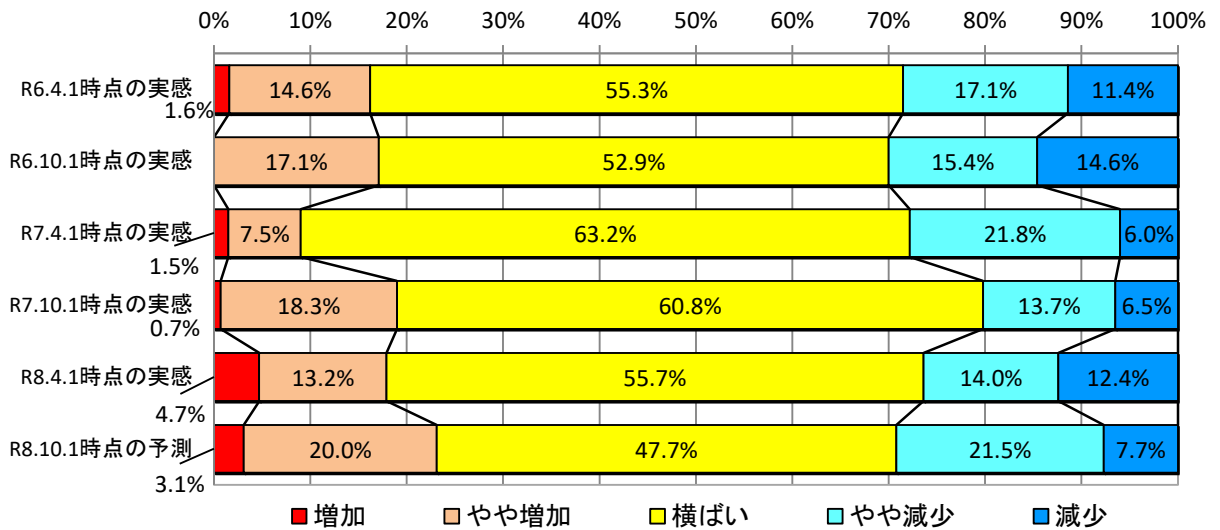
## 中古戸建住宅



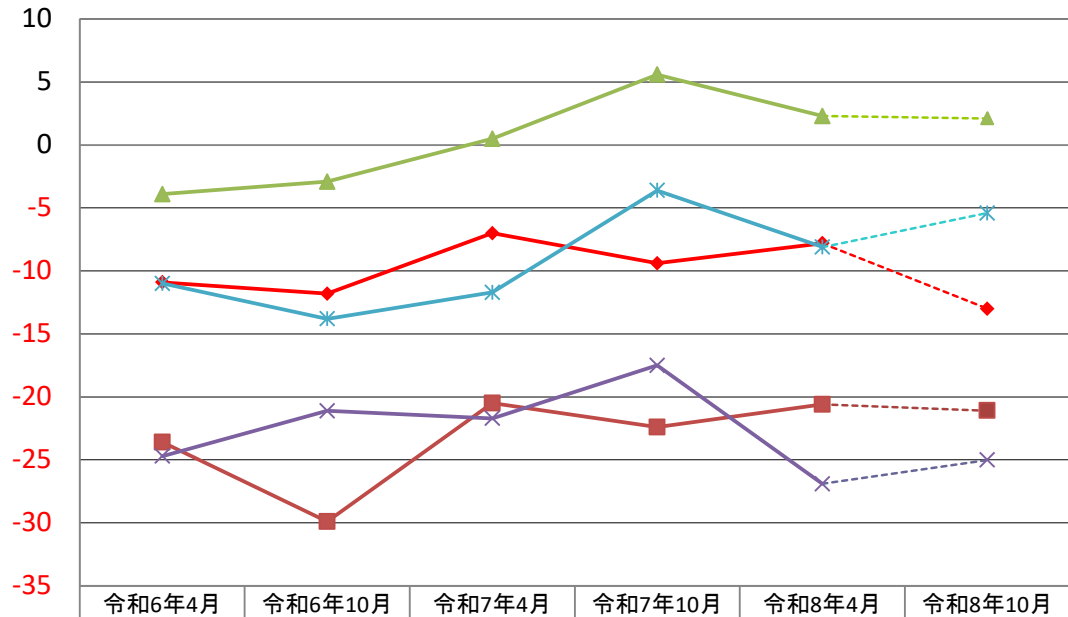
## 新築マンション



## 中古マンション



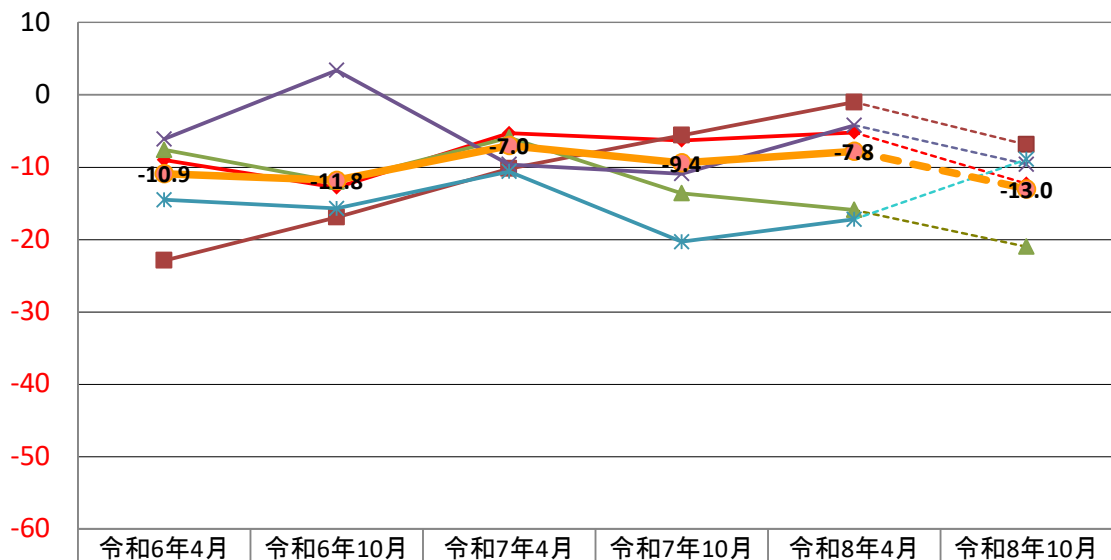
## 岐阜県不動産DI



土地	-10.9	-11.8	-7.0	-9.4	-7.8	-13.0
新築戸建住宅	-23.6	-29.9	-20.5	-22.4	-20.6	-21.1
中古戸建住宅	-3.9	-2.9	0.5	5.6	2.3	2.1
新築マンション	-24.7	-21.1	-21.7	-17.5	-26.9	-25.0
中古マンション	-11.0	-13.8	-11.7	-3.6	-8.1	-5.4

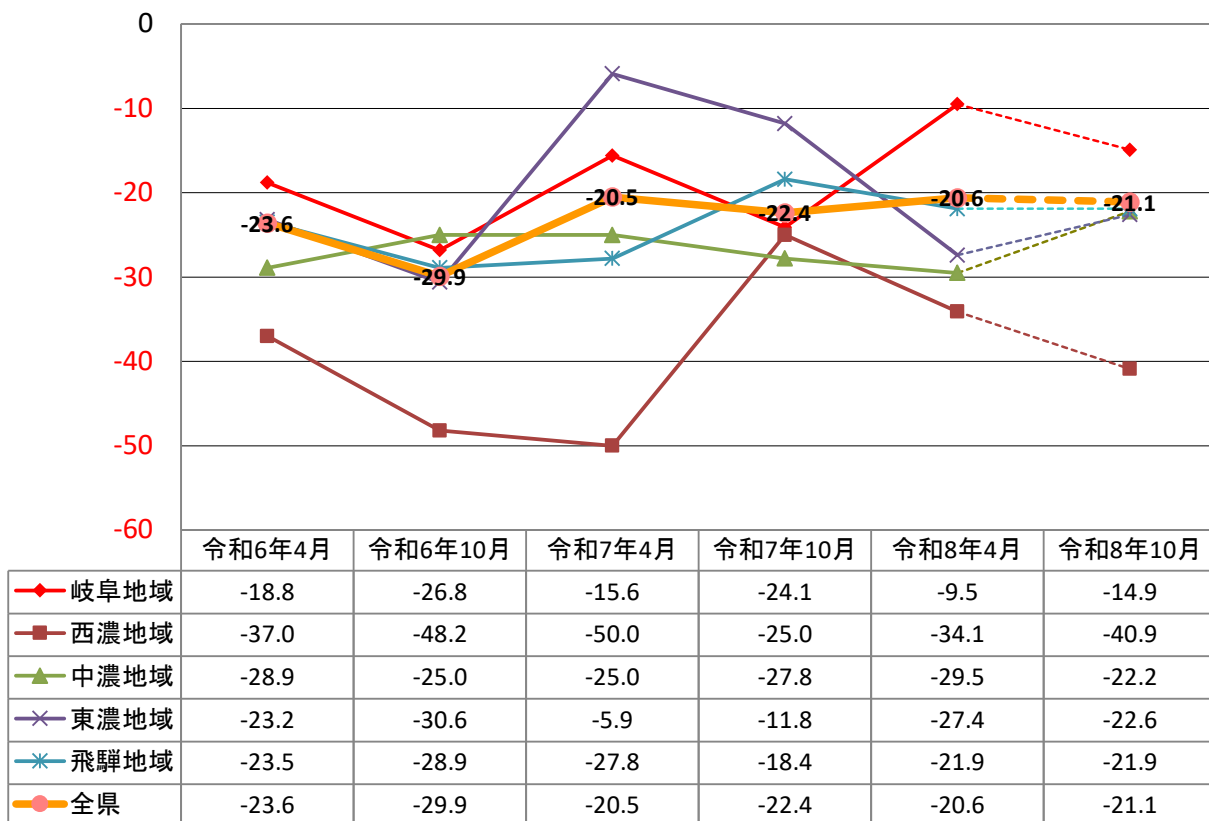
## ②地域毎の集計

### 土地DI

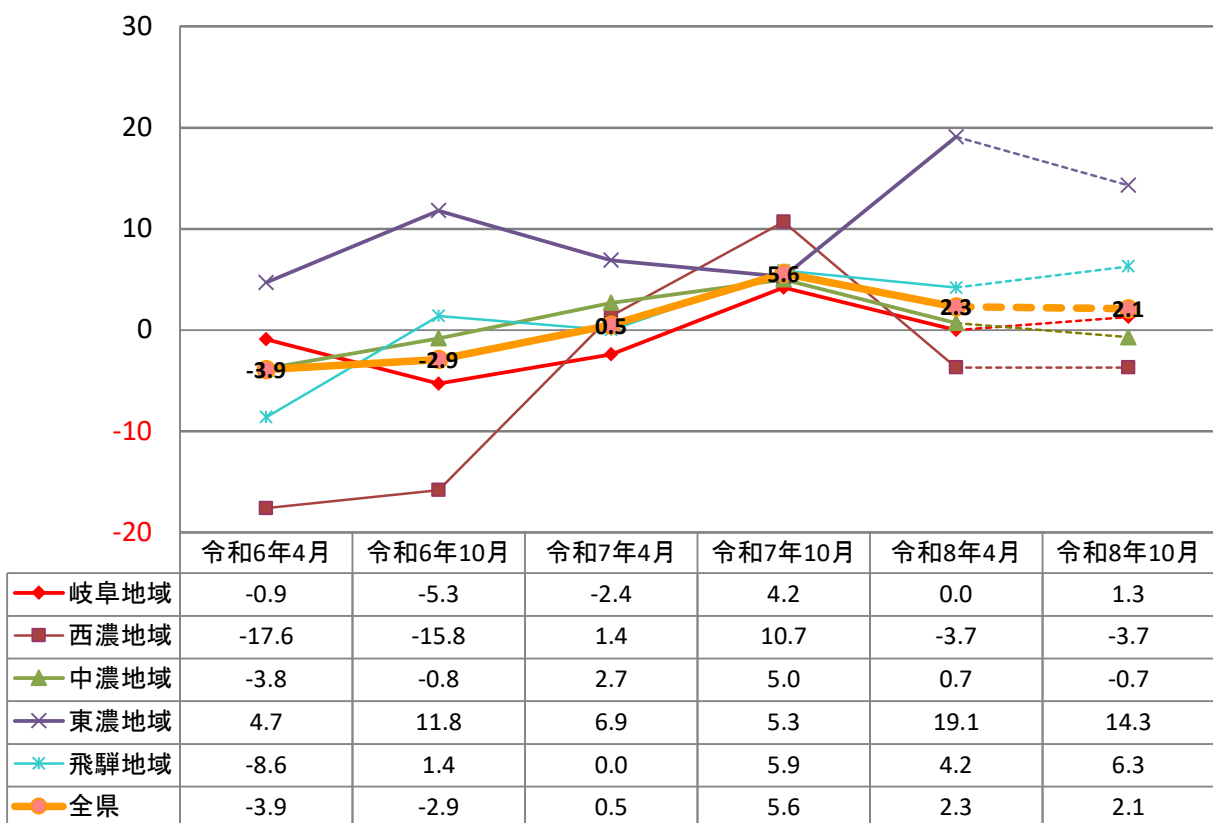


岐阜地域	-9.0	-12.8	-5.3	-6.3	-5.2	-12.3
西濃地域	-22.9	-16.9	-10.2	-5.6	-1.0	-6.9
中濃地域	-7.6	-12.0	-5.9	-13.6	-15.9	-21.0
東濃地域	-6.1	3.4	-9.6	-10.9	-4.2	-9.6
飛騨地域	-14.5	-15.7	-10.6	-20.3	-17.2	-8.9
全県	-10.9	-11.8	-7.0	-9.4	-7.8	-13.0

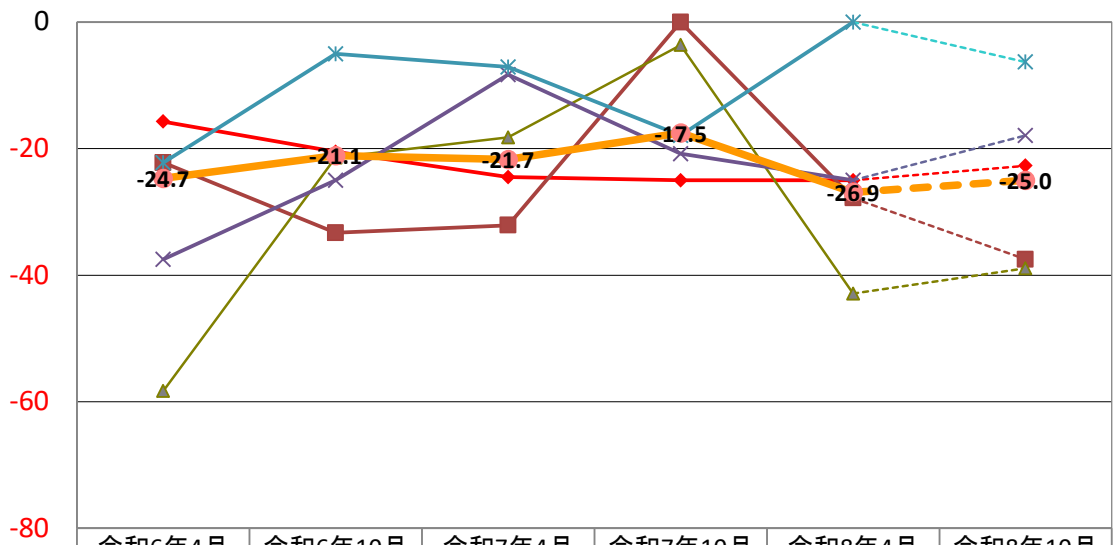
### 新築戸建住宅DI



### 中古戸建住宅DI

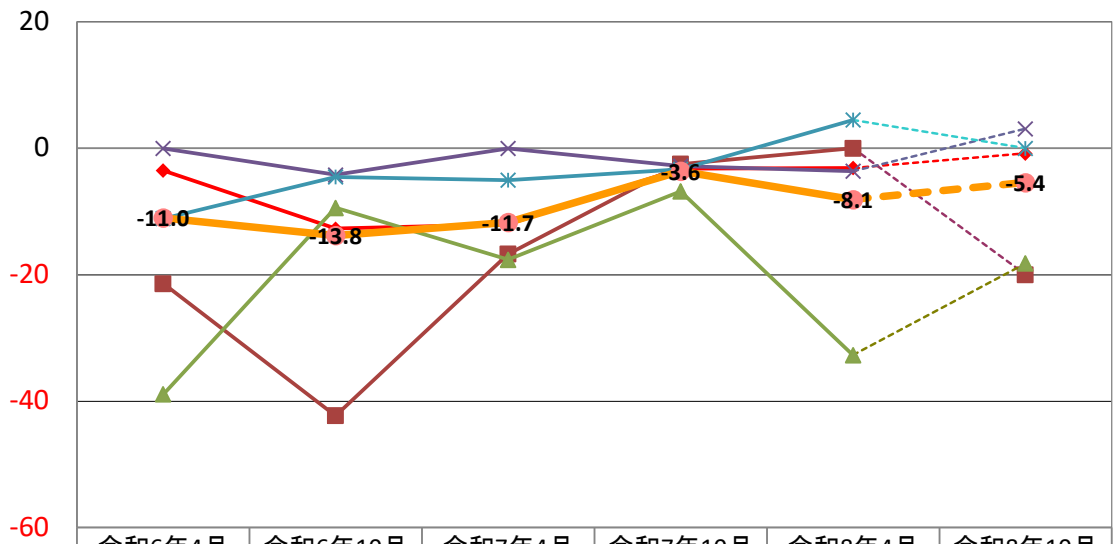


### 新築マンションDI



	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月	令和7年10月	令和8年4月	令和8年10月
岐阜地域	-15.7	-20.5	-24.5	-25.0	-25.0	-22.7
西濃地域	-22.2	-33.3	-32.1	0.0	-27.8	-37.5
中濃地域	-58.3	-21.4	-18.2	-3.6	-42.9	-38.9
東濃地域	-37.5	-25.0	-8.3	-20.8	-25.0	-17.9
飛騨地域	-22.2	-5.0	-7.1	-17.9	0.0	-6.3
全県	-24.7	-21.1	-21.7	-17.5	-26.9	-25.0

### 中古マンションDI



	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月	令和7年10月	令和8年4月	令和8年10月
岐阜地域	-3.5	-12.7	-12.0	-3.2	-3.1	-0.8
西濃地域	-21.4	-42.3	-16.7	-2.5	0.0	-20.0
中濃地域	-38.9	-9.4	-17.6	-6.8	-32.7	-18.2
東濃地域	0.0	-4.2	0.0	-2.8	-3.6	3.1
飛騨地域	-11.1	-4.5	-5.0	-3.3	4.5	0.0
全県	-11.0	-13.8	-11.7	-3.6	-8.1	-5.4

### (3)不動産取引(賃料・空室率)の動向

#### ①岐阜県全域の集計

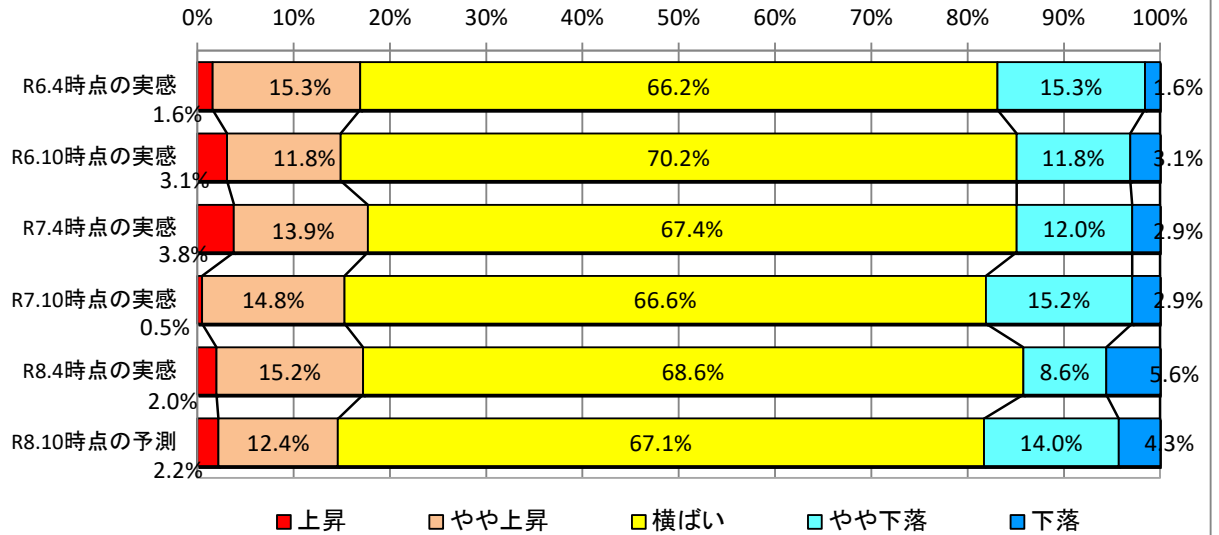
問6. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、令和8年4月1日現在の賃料・空室率は、半年前(令和7年10月1日)と比較してどうですか？

賃料動向・全域(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の賃料動向(実感値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
居住用物件の賃料	回答数	4	30	135	17	11	197
DI指数	-0.3P	2.0%	15.2%	68.6%	8.6%	5.6%	100%
事業用物件の賃料	回答数	1	29	113	30	6	179
DI指数	-3.1P	0.6%	16.2%	63.0%	16.8%	3.4%	100%
空室率動向・全域(過去)		1	2	3	4	5	
調査時点における過去半年の空室率動向(実感値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある	合計
居住用物件の空室率	回答数	11	24	98	34	9	176
DI指数	-1.7P	6.3%	13.6%	55.7%	19.3%	5.1%	100%
事業用物件の空室率	回答数	5	24	96	36	5	166
DI指数	-3.6P	3.0%	14.5%	57.8%	21.7%	3.0%	100%

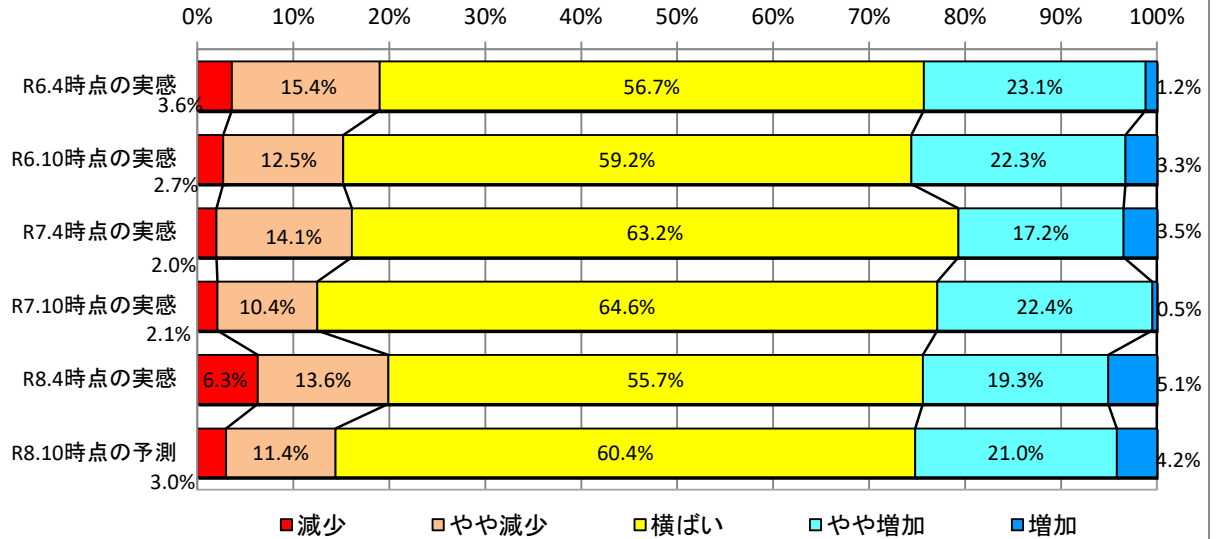
問7. 貴社で取扱いの次の賃貸(仲介)物件について、半年後(令和8年10月1日)の賃料・空室率は、現在(令和8年4月1日)と比較してどうなると予想されますか？

賃料動向・全域(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の賃料動向(予測値)		上昇傾向にある	やや上昇傾向にある	横ばいである	やや下落傾向にある	下落傾向にある	合計
居住用物件の賃料	回答数	4	23	125	26	8	186
DI指数	-3.0P	2.2%	12.4%	67.1%	14.0%	4.3%	100%
事業用物件の賃料	回答数	1	27	110	26	5	169
DI指数	-2.1P	0.6%	16.0%	65.0%	15.4%	3.0%	100%
空室率動向・全域(将来)		1	2	3	4	5	
調査時点から半年先の空室率動向(予測値)		減少傾向にある	やや減少傾向にある	横ばいである	やや増加傾向にある	増加傾向にある	合計
居住用物件の空室率	回答数	5	19	101	35	7	167
DI指数	-6.0P	3.0%	11.4%	60.4%	21.0%	4.2%	100%
事業用物件の空室率	回答数	2	23	101	28	6	160
DI指数	-4.1P	1.3%	14.4%	63.0%	17.5%	3.8%	100%

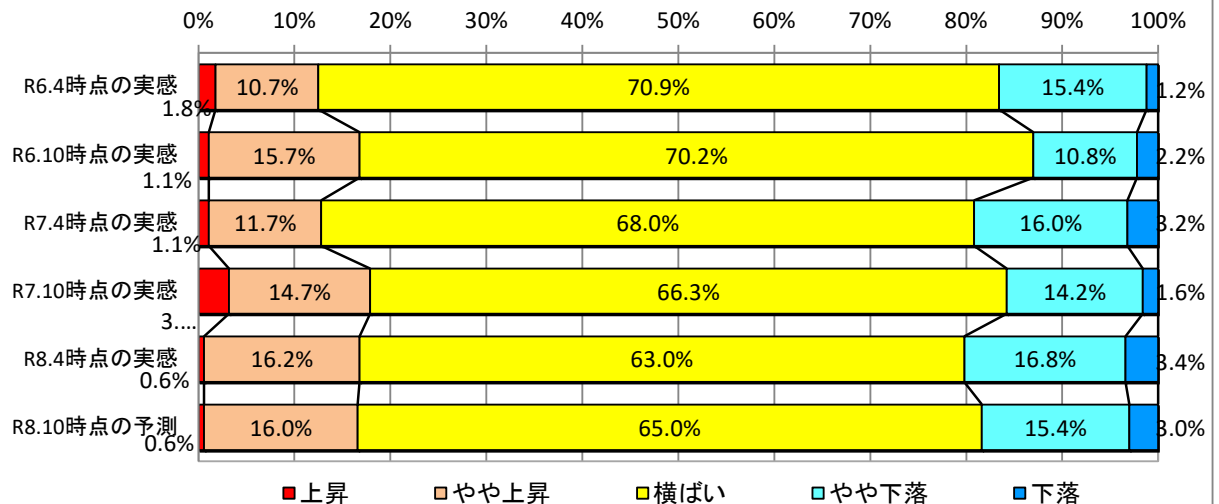
## 居住用物件の賃料



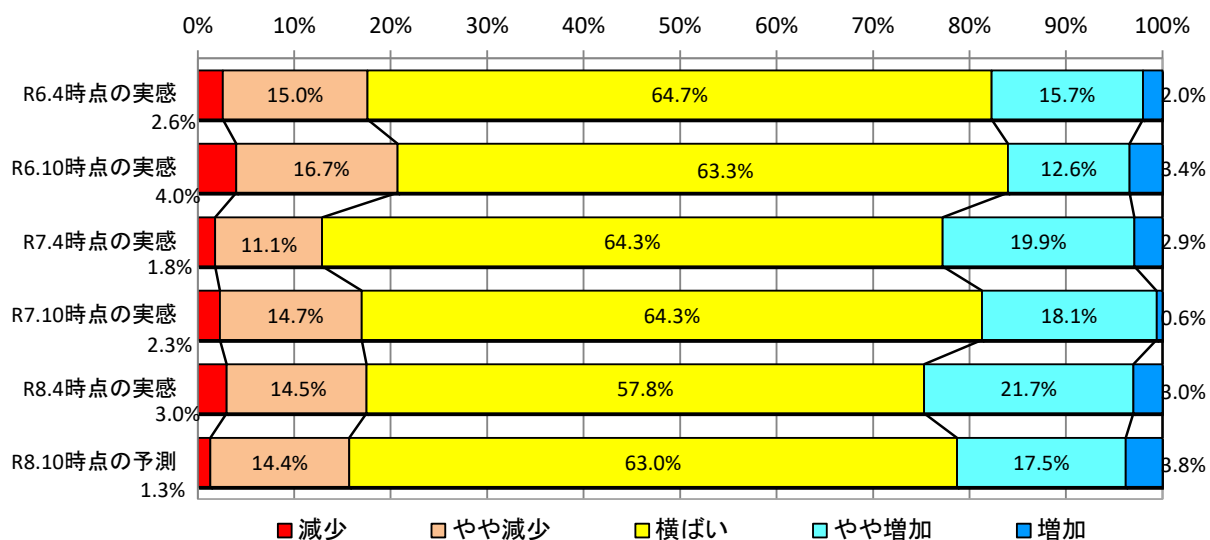
## 居住用物件の空室率



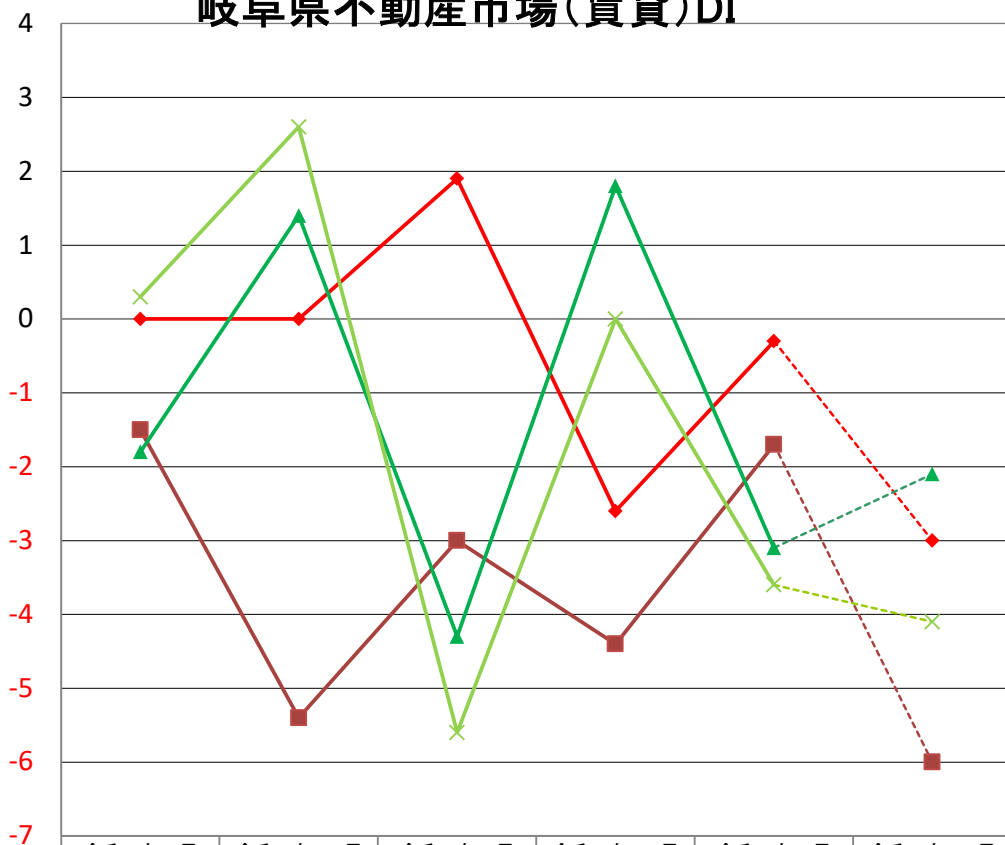
## 事業用物件の賃料



## 事業用物件の空室率



## 岐阜県不動産市場(賃貸)DI

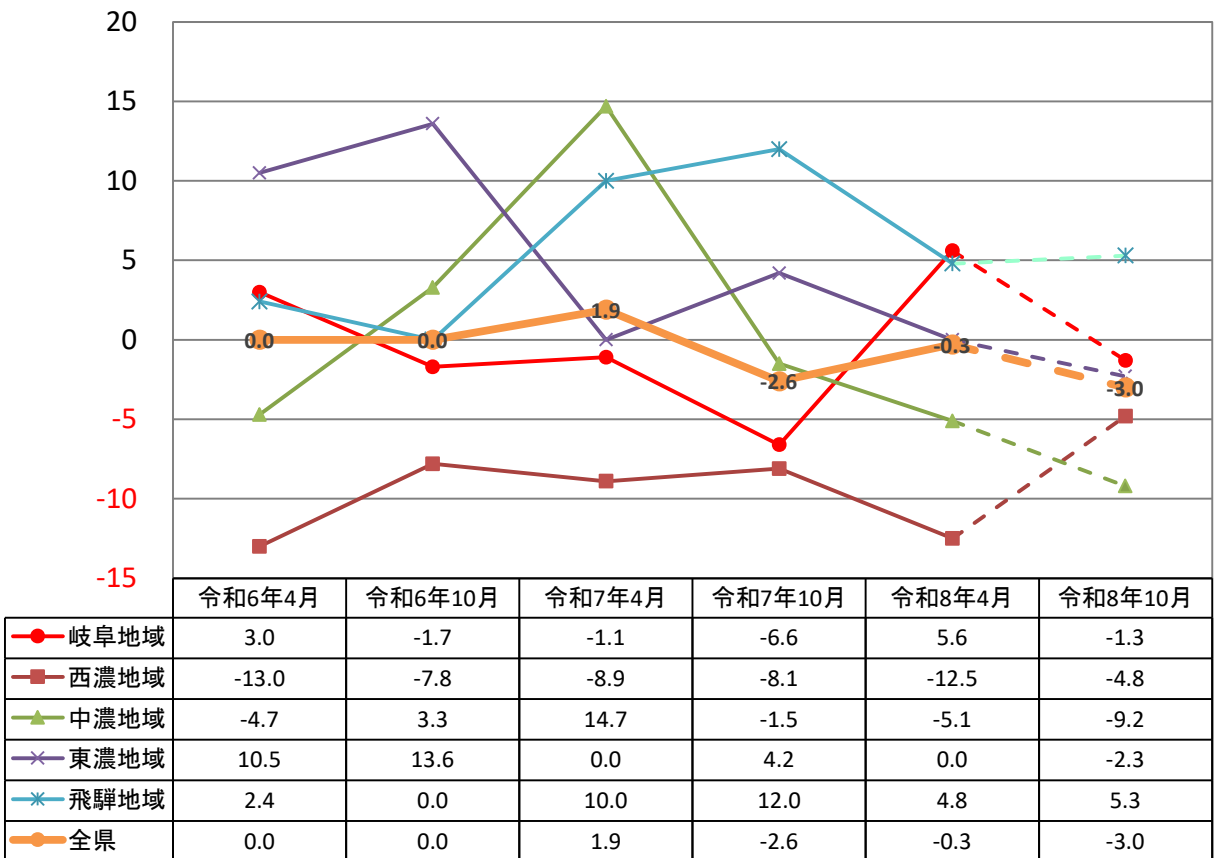


	令和6年4月	令和6年10月	令和7年4月	令和7年10月	令和8年4月	令和8年10月
居住用物件の賃料	0.0	0.0	1.9	-2.6	-0.3	-3.0
居住用物件の空室率	-1.5	-5.4	-3.0	-4.4	-1.7	-6.0
事業用物件の賃料	-1.8	1.4	-4.3	1.8	-3.1	-2.1
事業用物件の空室率	0.3	2.6	-5.6	0.0	-3.6	-4.1

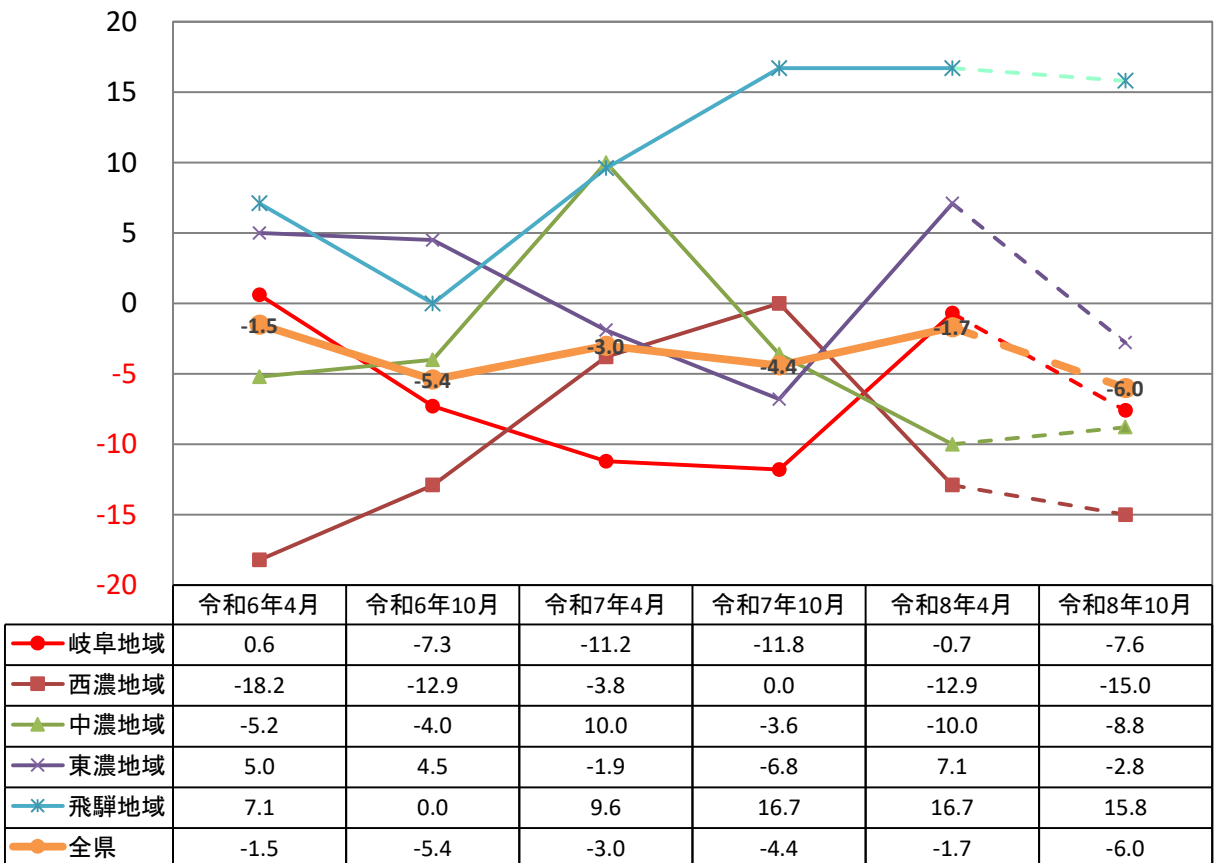
※は時点における予測値を示す（以下、同様）。

②地域毎の集計

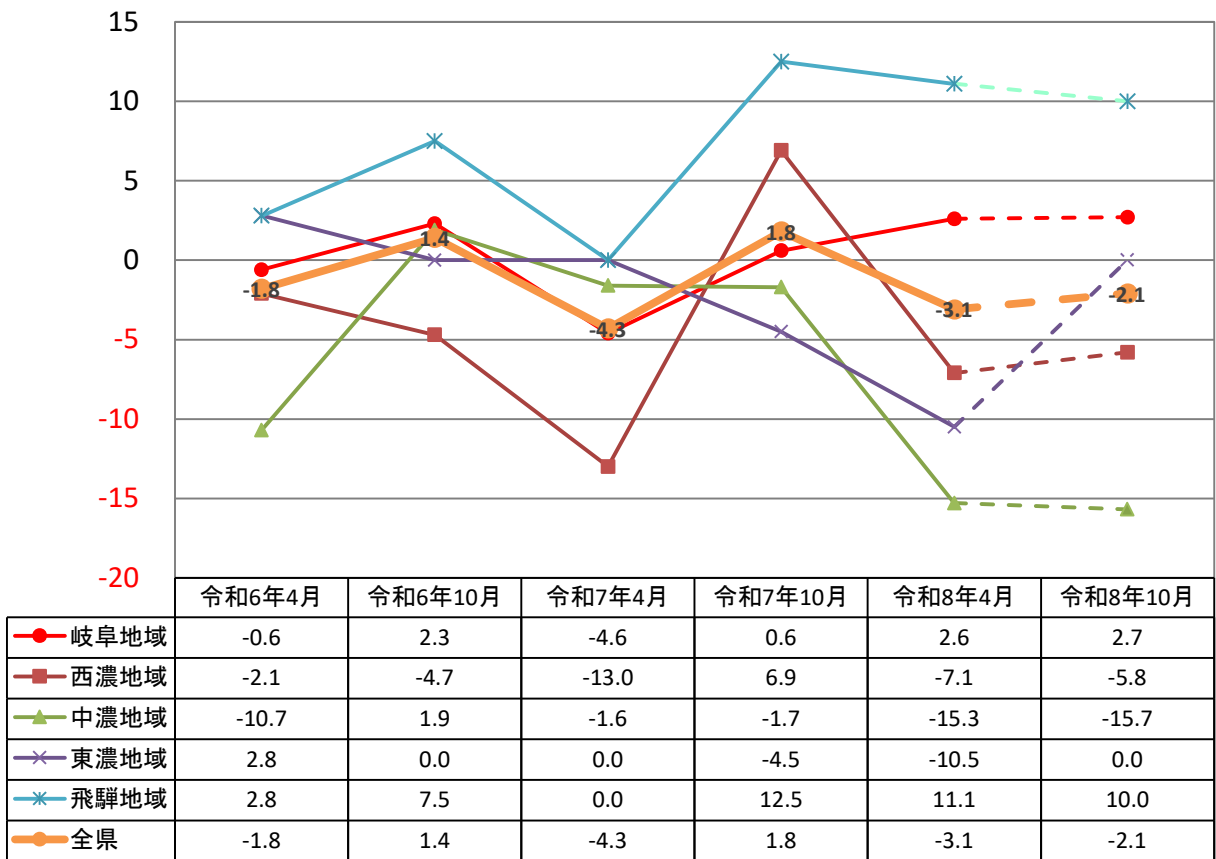
### 居住用物件の賃料DI



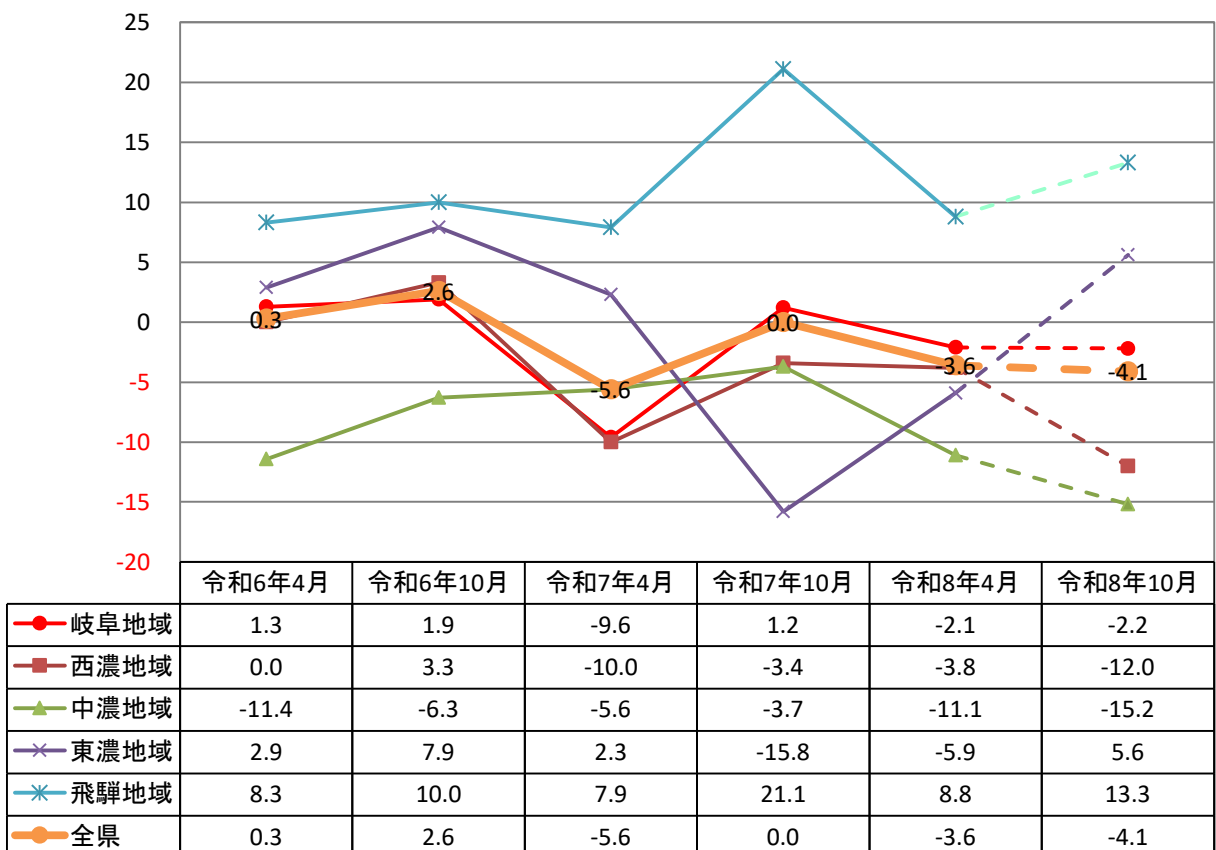
### 居住用物件の空室率DI



## 事業用物件の賃料DI



## 事業用物件の空室率DI



## 各地域ごとのコメント

岐阜地域	建築価格の上昇の影響により、土地の買い控えにつながる可能性がある。
	住宅需要は引き続き安定しており、特に中古住宅・土地の取引は安定して推移している印象。一方で、建築費の高騰の影響により新築の動きはやや鈍化しており、今後も横ばいで推移するものと考える。
	中東情勢により先行き不透明。生活にも影響あり。物価高と相まって好条件がない。
西濃地域	昨年より、材料費等が一通り値上がりした中で、今回の原油不足、賃金値上げ等で建物の価格が上がっていき、先行きがまったくわからない。
	不在地主が増加しており、相続発生と同時に土地を処分する人が大半である。そのため売却が難しい物件が多く、0円でも売却する人が多い。
	商業地が上がっていると感じる。
中濃地域	新築戸建ての価格高騰により、中古住宅の需要が増えるのではないかと予想する。
	中東情勢により、石油高騰、資材不足による景気の悪化から、不動産市況は悪化、金利上昇による中古住宅の落込みを予想する。
	農振除外ができない土地が増えてきており宅地分譲地の売地が減少している。
東濃地域	東濃地区は人口減少傾向であり、売買の仲介、賃貸の仲介は横ばいから減少傾向にある。新築物件の価格の上昇で今後は、中古・空家物件のリフォーム・リユースが増加すると予想する。
	一戸建て個人住宅の新築受注が少ない。
	需要の中心は、戸建用地(70坪以上)が最多で、良い土地はすぐに売れ、不便な土地は長期化となり「極端な二極化」となりつつある。今後も人口減少、高齢化、車依存により土地あまりとなるのを懸念している。
飛騨地域	高山市内の中古マンションの要望が多い。
	住宅新築件数が大きく下落している。半面、賃貸住宅の需要は増加傾向にある。特に新居として空き家(中古住宅)を購入し、リフォームして銀行からの借入額を1500万以下にする需要者が増えているように感じる。

## 全県実感DI推移表

時点	土地 価格 全体	土地 価格 住宅地	土地 価格 商業地	土地 取引	新築 戸建 取引	中古 戸建 取引	新築 マンション 取引	中古 マンション 取引	居住用 物件 賃料	居住用 物件 空室率	事業用 物件 賃料	事業用 物件 空室率
平成22年4月	-41.2			-27.0	-37.6	-15.3	-57.1	-36.5	-42.0	-33.9	-53.5	-34.8
平成22年10月	-42.7			-30.9	-28.5	-22.0	-60.5	-40.0	-42.7	-33.5	-61.6	-46.2
平成23年4月	-32.3			-21.0	-21.9	-20.5	-52.3	-40.5	-34.9	-17.1	-47.3	-30.4
平成23年10月	-34.9			-16.3	-10.2	-13.3	-38.9	-31.1	-34.5	-29.2	-49.0	-32.4
平成24年4月	-34.6			-13.5	-31.1	-22.9	-71.1	-48.1	-32.5	-17.0	-38.5	-30.6
平成24年10月	-35.8			-16.8	-23.5	-14.8	-53.8	-32.6	-38.5	-25.9	-51.4	-38.2
平成25年4月	-9.7			10.1	-3.3	-3.1	-17.0	-16.7	-17.6	-6.9	-18.1	-6.6
平成25年10月	-13.3			-1.9	2.7	-3.0	-10.2	-11.6	-20.9	-11.1	-27.2	-21.1
平成26年4月	-14.6			-14.2	-18.0	-15.3	-26.6	-20.9	-19.6	-13.5	-21.5	-13.5
平成26年10月	-20.5			-17.7	-23.2	-16.9	-34.4	-29.6	-20.1	-19.2	22.8	-14.7
平成27年4月	-19.4			-13.5	-19.0	-14.0	-22.1	-19.4	-22.1	-15.1	-22.2	-11.2
平成27年10月	-19.2			-14.4	-22.8	-13.2	-27.9	-21.2	-20.4	-14.2	-20.9	-11.7
平成28年4月	-16.4			-7.3	-11.5	-7.5	-15.8	-12.3	-16.5	-6.2	-19.2	-9.7
平成28年10月	-20.1			-12.2	-11.8	-10.3	-22.4	-17.4	-16.4	-9.3	-20.3	-9.9
平成29年4月	-13.1	-14.1	-12.1	-4.0	-12.8	-8.9	-25.0	-19.8	-21.7	-15.4	-16.8	-10.6
平成29年10月	-13.3	-15.2	-11.2	-5.0	-12.0	-11.8	-22.8	-12.0	-15.5	-14.2	-16.2	-12.6
平成30年4月	-7.5	-11.3	-3.6	-4.6	-8.5	-12.1	-21.7	-18.3	-9.6	-9.2	-15.0	-8.7
平成30年10月	-7.8	-10.6	-4.8	-2.8	-3.3	-5.6	-16.7	-15.0	-11.8	-6.5	-13.3	-7.9
平成31年4月	-8.4	-11.3	-5.3	-3.7	-7.0	-4.8	-23.3	-18.1	-12.7	-6.3	-12.8	-6.7
令和1年10月	-10.3	-14.3	-6.0	-7.4	-9.5	-9.3	-23.6	-21.2	-11.5	-5.9	-13.5	-6.6
令和2年4月	-19.6	-22.0	-17.1	-20.3	-22.3	-22.1	-33.8	-29.0	-15.1	-9.5	-25.3	-19.1
令和2年10月	-25.1	-24.1	-26.0	-14.1	-22.5	-12.8	-29.1	-23.4	-18.1	-17.8	-29.9	-21.9
令和3年4月	-15.5	-14.3	-16.8	-6.8	-3.2	-7.2	-18.0	-16.5	-11.4	-7.7	-21.6	-19.0
令和3年10月	-10.4	-8.5	-12.4	-5.0	0.5	1.9	-12.8	-11.0	-9.1	-9.2	-18.8	-10.8
令和4年4月	-4.4	-3.5	-5.5	-4.9	-7.2	-3.2	-10.9	-8.9	-7.0	2.2	-9.2	-3.3
令和4年10月	-3.5	-4.5	-2.4	-4.9	-10.6	-2.9	-21.1	-12.1	-8.8	-6.2	-13.7	-10.7
令和5年4月	0.7	-2.0	3.7	-10.8	-19.6	-3.1	-15.7	-11.3	-2.4	-1.1	-4.5	-1.5
令和5年10月	1.1	-1.7	4.2	-9.7	-23.1	-7.1	-14.6	-17.5	-2.7	-7.4	-6.8	-6.2
令和6年4月	1.7	-2.4	6.1	-10.9	-23.6	-3.9	-24.7	-11.0	0.0	-1.5	-1.8	0.3
令和6年10月	0.6	-2.5	3.9	-11.8	-29.9	-2.9	-21.1	-13.8	0.0	-5.4	1.4	2.6
令和7年4月	0.1	-3.9	4.3	-7.0	-20.5	0.5	-21.7	-11.7	1.9	-3.0	-4.3	-5.6
令和7年10月	1.5	-2.7	5.9	-9.4	-22.4	5.6	-17.5	-3.6	-2.6	-4.4	1.8	0.0
令和8年4月	1.2	-2.9	5.6	-7.8	-20.6	2.3	-26.9	-8.1	-0.3	-1.7	-3.1	-3.6